

SSTボードゲーム フレンドシップアドベンチャー

ボード盤には5つの島が描かれています。それぞれの島にはソーシャルスキルのテーマが設定されています。島を1周すると宝物がもらえるようになっており、子ども達は質問カードに答えながら島巡りをして宝物を集めます。

「なかよしチャレンジ」と異なり、こちらは自分の気持ちや意見を述べる形になっています。単なるノウハウではなく、自分の意見、他者の意見をグループになって共有することで、ソーシャルスキルトレーニングを進めていきます。



¥8,400 (税込)

参加人数：2名～6名 (個別での使用も可)
 ボード版1セット (パズルタイプ)・質問カード 200枚
 コマ6個・サイコロ1個・宝物5色6個ずつ・解説書
 寸法/ボード：400×573mm 外箱：220×320×50mm

監修：本田 恵子 (早稲田大学教育学部教授)
 著者：石川 令子 (臨床心理士)・熊本 エリザ (臨床心理士)

使い方

朝や帰りの会などで皆で質問の答えを考えたり、なぜそういう事態が起きるのか、その背景を話し合うことができます。道徳や総合学習などの時間に5～6名のグループを作ってゲームを進めることもできます。解答が無いので、答えが言いつばなしにならないように、ワークシートなどを活用するなど、工夫してください (自分の意見への感想を聞く、もしそれを実行したらどうなるかを皆で考えるなど)。普段は照れくさくてなかなか話せない「自分」について語る質問カードも盛り込まれており、ゲームを通して、子どもの自己理解や他者理解が促進されます。

質問カードは学校での内容が中心ですが、大人にも大切なソーシャルスキルのエッセンスが盛り込まれていますので、使用するカードを選ぶことで、大人のグループワークに使用することもできます。



カード質問例

休み時間に先輩に「タバコを買ってこい」と言われました。どう断りますか。
 しばらく口をきいていなかった友達がいっしょに帰ろうと言いました。何と答えますか。
 10年後あなたはどんな大人になりたいですか。
 「クラブ(部)活動がおもしろくないからやめたいな」と思っても最後までやり通すためにはどうしたらよいでしょうか。
 わからなかった問題が解けるようになった時の事を話してください。

活用場面

●グループでの特別支援教育や道徳、総合学習での友達作りの時間に。●スクールカウンセリングや特別支援における個別指導の際のコミュニケーションに。

カードに含まれる
 ソーシャル
 スキル

オリジナリティ 勇気を出そう
 尊重し合おう ストレス耐性
 自信を持とう

